

報道各位

フィリピン・マニラにて3回目の船用工業セミナーを開催

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団助成事業として2月6日(木)にフィリピン共和国マニラ市にて船用工業セミナーを開催した。

フィリピンでのセミナー開催は、2015年、2018年に開催し今回で3回目であり、前回同様、当日午前中に船舶管理に関するセミナーを実施した(一財)日本海事協会とともに、「Japan Day」として共同で開催した。

当会は2019年3月にフィリピン外航船主協会(FSA)、フィリピン内航船主協会(PISA)及びフィリピン石油輸送協会(PHILPHESTA)との間で関係強化を図るための協力協定(MOU)を締結し、さらには同年6月にフィリピン海事産業庁(MARINA)ともMOUを締結した。今回のセミナーは、MOU締結先の協力を得て実施し、約180名のフィリピン関係省庁、船主、造船所及び水産会社など多種多様な来場者があった。

セミナーでは当会小野副会長から開会挨拶を行った後、フィリピン海事産業庁長官・Vingson中将からのオープニングスピーチでは、フィリピン海事産業は環境や安全対策とともに国内の船舶や造船業の近代化への取り組みを加速させる、そのためには、船用メーカーの協力が不可欠であり、MARINAとJSMEAとのMOUを基盤として日本の船用メーカーの一層の貢献を期待したい、との挨拶があった。

その後、当会会員企業12社が一般商船向け及び漁船向け最新機器等に関するプレゼンテーションを実施したところ、セミナー開始直後から立ち見が出るほどの来場者があり、終了まで多くの現地関係者の参加が途絶えることはなかった。

また、セミナー会場に隣接した参加会員企業毎の商談テーブルでも、カタログ等を用いて来場者との活発な情報交換が行われた。

セミナー終了後のネットワークレセプションも、日本海事協会と当会とで共同開催し、フィリピン海事関係者と我が国海事関係者との幅広い交流を図る機会となった。

【フィリピン船用工業セミナー 開催概要】

日時： 2月6日(木)

場所：Diamond Hotel Philippines

参加企業：(株)IHI 原動機、(株)金剛コルメット製作所、セムコ(株)、大洋電機(株)、

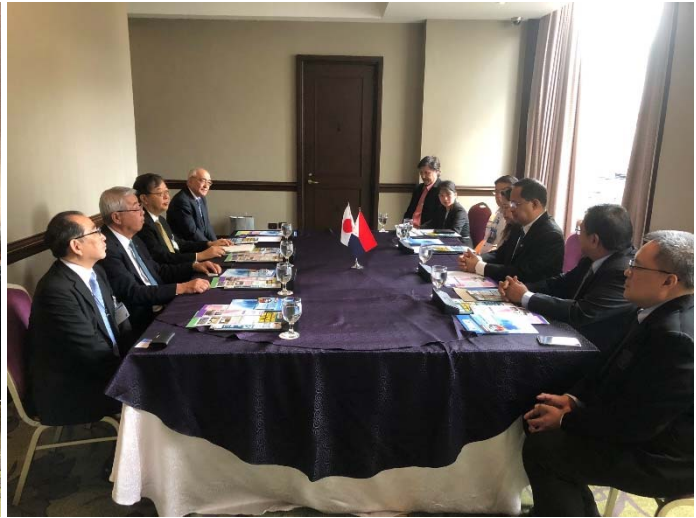
ダイハツディーゼル(株)、東京計器(株)、ナカシマプロペラ(株)、

ナブテスコ(株)、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、三浦工業(株)、ヤンマー(株)

=== 本件に関する問い合わせ先 ===

一般社団法人日本船用工業会 業務部 友松 tomatu@jsmea.or.jp

MARINA、FSA、PISA と JSMEA との面談



フィリピン海事産業庁、フィリピン外航船主協会、フィリピン内航船主協会との面談の様子

○下段右から順に：

Mr Dario Roy Alampay : FSA 会長
 当会小野副会長

VADM Narciso A Vingson : MARINA 長官
 Ms Naninette Villamor-Dinopol : MARINA
 Mr Christopher Pastrana : PISA 会長

○上段右から順に：

北村顧問

安藤専務理事

上田海外漁船市場開拓WG座長

セミナー



開会挨拶を行う小野副会長及び聴講者の様子（立ち見多数）



MARINA VADM Vingson 長官のオープニングスピーチ及び聴講者の様子



会員企業のプレゼンテーションの様子



商談テーブルの様子

ネットワーキングレセプション



日本海事協会 河関 良則 執行役員検査本部長の開会のあいさつ



FSA Alampay 会長の乾杯の挨拶



ラッキードロー 小野副会長の抽選



上田 海外漁船市場開拓検討WG座長の閉会の挨拶